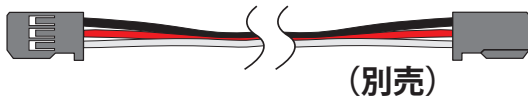


## FASSTest-2.4 GHz 方式

### デュアル RX リンクシステム専用サブ受信機

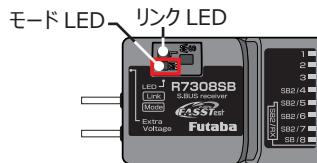
- R70SR は Futaba 製 FASSTest システムの送信機に対応します。
- R70SR は Futaba 製 Dual RX リンクシステムのメイン受信機、CGY770R、および DLPH シリーズに対応します。 ※ DLPH-1/FDLS-1 は非対応です。
- R70SR はサブレシーバー専用です。単体で受信・サーボ動作はできません。
- R70SR にはテレメトリー機能はありません。
- メイン受信機と接続するコード(メス-メス)はご希望の長さのものを別にご準備ください。



この度は FASSTest-2.4GHz システム対応受信機 R70SR をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。この受信機は R72xxSB/R73xxSB/CGY770R 等の Dual RX リンクシステム対応受信機や DLPH シリーズのサブレシーバーとして使用します。メイン受信機との協調動作をすることで、受信安定性をより高めることができます。

**R70SR とデュアル Rx リンクで使用するメイン受信機 /CGY770R/ DLPH-2 は、必ず最新ソフトウェアにアップデートしてご使用ください。**

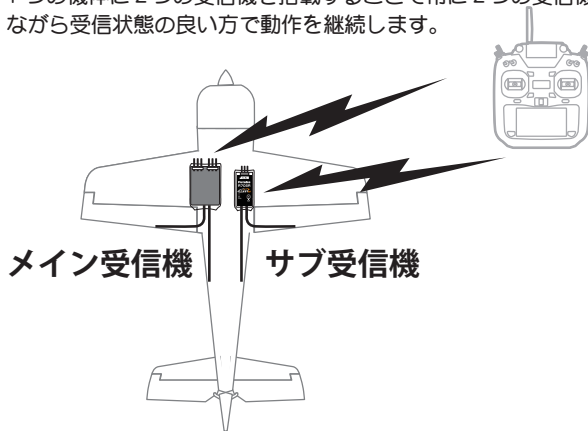
※メイン受信機 (R72xxSB/R73xxSB) のソフトウェアが最新のものでない場合、R70SR が正常に送信機とリンクしても (緑 LED 点灯)、メイン受信機のモード LED は赤点灯のままとなり、サーボは動作しますが R70SR の信号をメイン受信機は認識していませんので Dual Rx リンクは働いていない状態となります。したがって、メイン受信機のモード LED も併せて確認するようお願いいたします。



メイン受信機

## Dual RX リンクシステム

1 つの機体に 2 つの受信機を搭載することで常に 2 つの受信機で受信しながら受信状態の良い方で動作を継続します。



**[R70SR 受信機仕様]**  
 FASSTest-2.4 GHz 方式 (26CH/18CH/12CH モード)  
 デュアル RX システムサブレシーバー

- ・アンテナ：ダイバーシティー方式
- ・サイズ/重量：15.0 X 43.0 X 5.0 mm / 3.9 g
- ・定格電圧：3.7 ~ 7.4 V (使用可能電圧範囲 3.5 ~ 8.4 V)

※ BEC 電源を使用する場合、容量がご使用のサーボ等の条件に合っていることが必要です。また、乾電池は使用しないでください。誤動作の原因となります。

## 使用上の注意

※ FASSTest システムは従来の FASST システムとの互換性はありません。FASSTest システムに対応した送信機と組み合わせてご使用ください。

### 警告

- ① 受信機を搭載する際は、スポンジで包むなど防振対策をしてください。また、水分がかからないようにしてください。
  - 受信機は振動、水分に弱く故障する危険性があります。
- ① コネクターがショートしないように導体からは、離して搭載してください。
  - ショートすると破損します。
- ① 使用前の動作テストや使用中に正常に動作しない場合は使用を中止してください。
  - 他の 2.4 GHz システム等からのノイズにより電波が届かなくなる場合があります。
- ① 受信機の電源を先に入れてはいけません。必ず先に送信機から電源を入れて電波を出してください。

### アンテナ搭載時の注意

#### 警告

- ① 2 つのアンテナ (先端 30 mm) がお互いに 90 度の位置関係になるように搭載してください。メイン受信機のアンテナとなるべく離れた位置に異なる方向に設置してください。
  - R70SR は 2 つの異なる位置で信号を受信できるように、2 つのアンテナが装備されています (ダイバーシティアンテナ)。2 つのアンテナを自動的に切替えて常に安定した受信状態を確保しています。
- ① アンテナをカットしたり折り曲げたりしないでください。
  - 受信距離が短くなり操作不能になります。
- ① アンテナを引っ張らないでください。
  - 断線し操作不能になる危険性があります。
- ① アンテナはサーボ、モーター、バッテリーおよびそれらの配線から少なくとも 1.5 cm 以上離して搭載してください。
  - 受信距離が短くなり操作不能になります。

### カーボン胴体機に使用時の注意

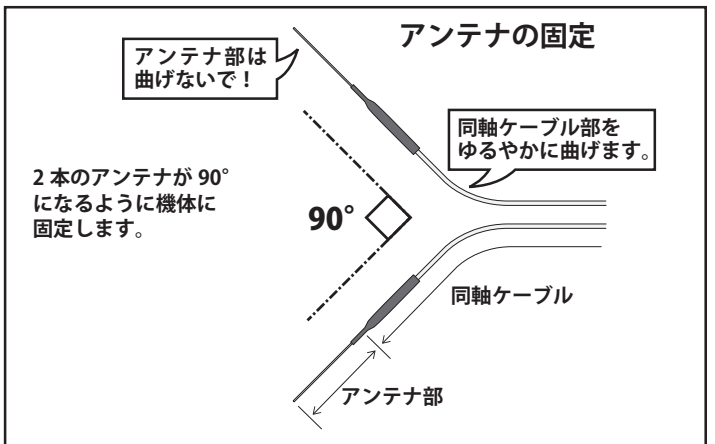
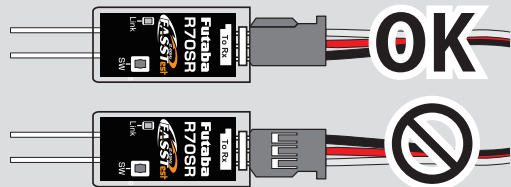
#### 警告

- ① アンテナ部分 (先端 30 mm) は完全に機体の外側に出してください。
  - 外側に出したアンテナ部がフライト中に風圧等で機体内部に戻らないよう注意してください。アンテナがカーボン胴体内にあると受信状況が悪化し操作不能になります。

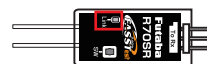
### コネクターさしこみについての注意

#### 警告

- ① R70SR のコネクターには Futaba DUAL RX システム受信機以外の機器は接続しないでください。
  - 誤動作、破損の危険性があります。
- ① コネクターさしこみを間違えないでください。
  - 故障・墜落・発火・焼損・やけどの危険性があります。
  - 下図のようなさしこみ間違えに注意してください。



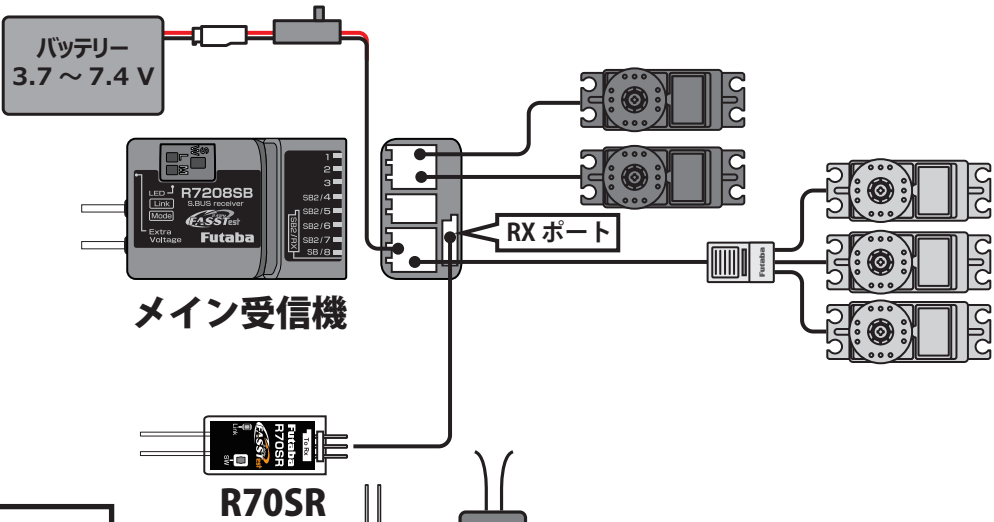
### 受信機 LED 表示



状態	LED
無信号時	赤点灯
通常動作時	緑点灯
リンク待ち状態	起動後、2 秒後に赤点滅 (約 3 秒間)
受信機内部の異常 (メモリー等)	赤 / 緑交互点灯

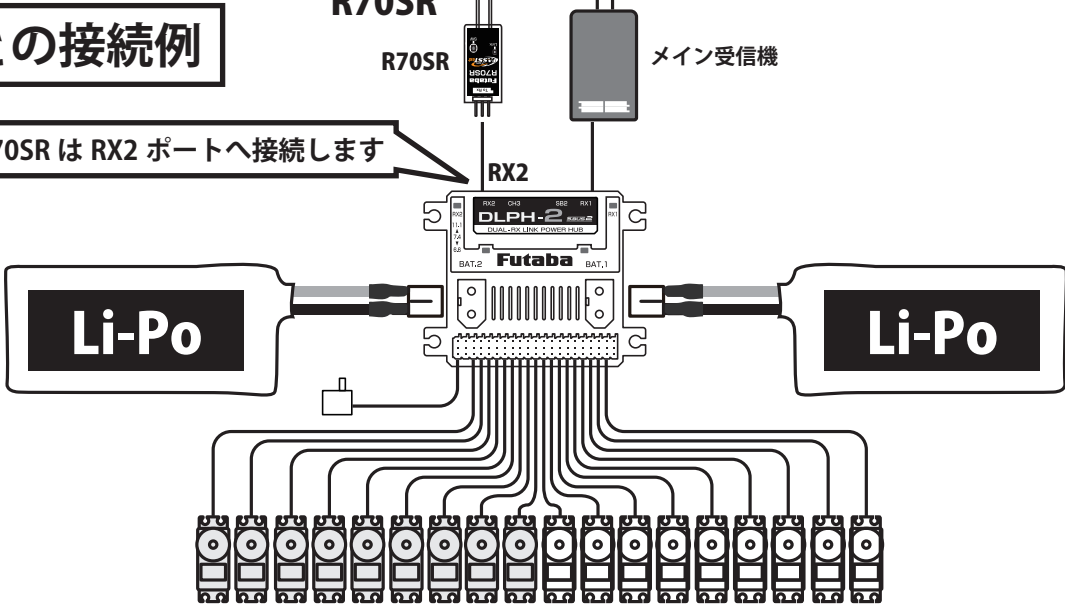
電源再投入で回復できない場合はサービスマンへ点検修理依頼してください。

# 接続例



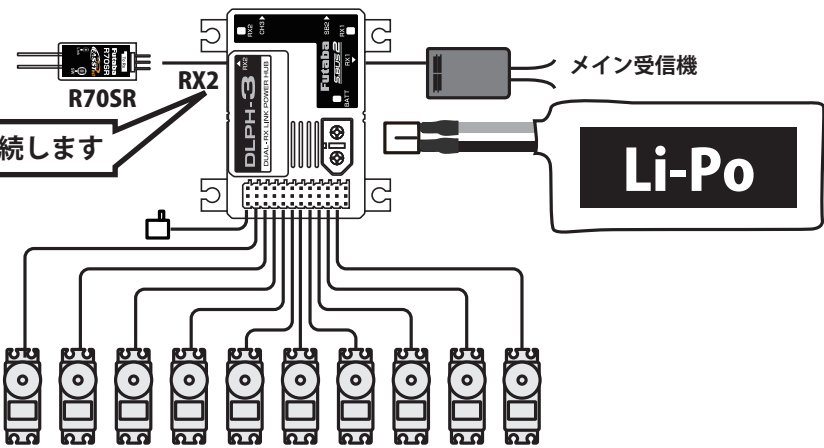
# DLPH-2 との接続例

R70SR は RX2 ポートへ接続します

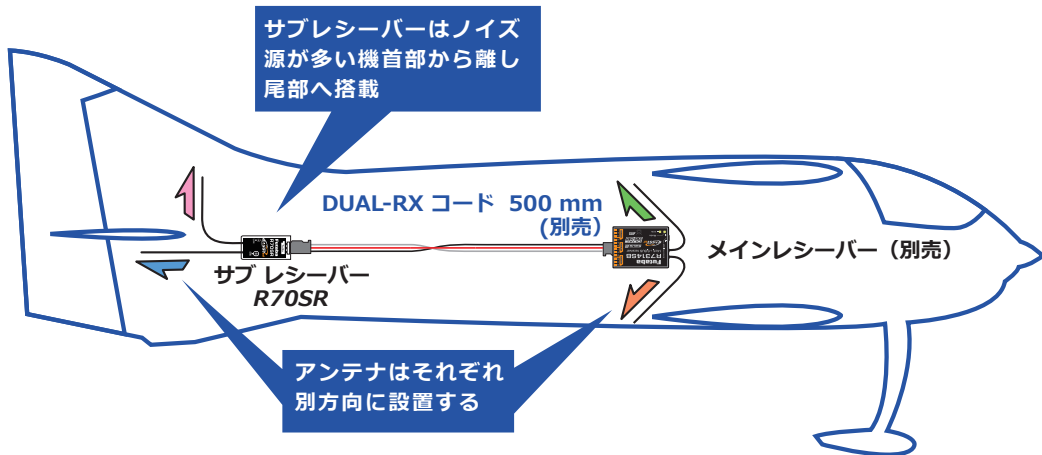


# DLPH-3 との接続例

R70SR は RX2 ポートへ接続します



# 配置例



## FASSTest26CH/18CH でのリンク

### リンクの方法

- 送信機と受信機を近づけます。
- 送信機のシステムタイプ画面で【受信機】を【デュアル】へ変更します。
- 送信機のシステムタイプ画面で【プライマリー】あるいは【受信機 1】を（※）リンクモードにした状態で**メイン受信機**の電源を入れてください。
- メイン受信機**の電源を投入してから、約 2 秒後にリンク待ち状態となります。
- メイン受信機**の LED が赤色の点滅から緑色点灯に変化すれば、メイン受信機のリンク完了です。（リンク待ち状態は約 3 秒間で終了します。）
- 送信機のシステムタイプ画面で【セカンダリー】あるいは【受信機 2】を（※）リンクモードにした状態でサブ受信機 **R70SR** の電源を入れてください。
- サブ受信機 **R70SR** の電源を投入してから、約 2 秒後にリンク待ち状態となります。
- サブ受信機 **R70SR** の LED が赤色の点滅から緑色点灯に変化すれば、リンク完了です。**R70SR** は受信専用なので送信機にはリンク完了の表示はできません。（リンク待ち状態は約 3 秒間で終了します。）  
※送信機をリンクモードにする方法についてはご使用の送信機の取扱説明書をご覧ください。  
※リンク操作時に、周囲で他の FASSTest-2.4GHz システムが使用されている場合、それらの送信機のうち 1 台とリンクしてしまう場合があります。このためリンク操作が完了したら、必ず動作を確認してください。  
※リンクされた送信機の電源を入れた場合は、そのまま通信を開始します。  
※送信機の通信モードを変更した場合、例えば 18CH モードから 12CH モードへ変更した場合などは通信できません。再度リンク設定を行ってください。  
※デュアルレシーバー機能使用時はメイン受信機のみテレメトリー機能を使用できます。サブ受信機に切り替わった場合はテレメトリー表示が無効です。  
※ R70SR は必ずセカンダリーあるいは受信機 2 でリンクしてください。

### ⚠ 警告

- ① リンク操作時は動力用モーターが接続された状態やエンジンがかかった状態では行わないでください。  
■不意にモーターが回転したり、エンジンが吹け上がったりすると大変危険です。
- ② リンク操作が完了したら受信機の電源は ON のまま送信機の電源を入/切し、電波が出た時にほぼ同時に緑 LED が点灯し、送信機を切ったと同時に赤になることを確認してください。

### ⚠ 注意

- ① リンク完了後は必ず送信機から電源を入れてください。  
■受信機から電源を入れた場合、周囲にリンク操作中の送信機があった場合、そちらの送信機にリンクしてしまう恐れがあります。
- ② 送信機とのペアを組みかえる場合は、以前にリンクしていた送信機の電波を出さないでください。

## FASSTest12CH でのリンク

### リンクの方法

- 送信機と受信機を近づけます。
- 送信機のシステムタイプ画面で（※）リンクモードにした状態で **R70SR** の電源を入れてください。
- サブ受信機 **R70SR** の電源を投入してから、約 2 秒後にリンク待ち状態となります。
- サブ受信機 **R70SR** の LED が赤色の点滅から緑色点灯に変化すれば、リンク完了です。**R70SR** は受信専用なので送信機にはリンク完了の表示はできません。（リンク待ち状態は約 3 秒間で終了します。）
- 次に送信機のシステムタイプ画面で（※）リンクモードにした状態で **メイン受信機**の電源を入れてください。
- メイン受信機**の電源を投入してから、約 2 秒後にリンク待ち状態となります。
- メイン受信機**の LED が赤色の点滅から緑色点灯に変化すれば、リンク完了です。（リンク待ち状態は約 3 秒間で終了します。）  
※送信機をリンクモードにする方法についてはご使用の送信機の取扱説明書をご覧ください。  
※リンク操作時に、周囲で他の FASSTest-2.4GHz システムが使用されている場合、それらの送信機のうち 1 台とリンクしてしまう場合があります。このためリンク操作が完了したら、必ず動作を確認してください。  
※リンクされた送信機の電源を入れた場合は、そのまま通信を開始します。  
※送信機の通信モードを変更した場合、例えば 18CH モードから 12CH モードへ変更した場合などは通信できません。再度リンク設定を行ってください。  
※送信機は最後にリンクした受信機のテレメトリーを表示します。最後にメイン受信機のリンクを行なってください。

■ 双葉電子工業（株）ラジコンカスタマーサービス  
〒 299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080  
TEL.(0475)32-4395